

附属明細書

	該当ページ
資料一1 日程順経過報告	P 1
一2 令和2年度会議室利用状況	P 3
一3 おしごと広場みえ運営事業	P 4
一4 若者者地域連携事業	P12
一5 地域連携若者サポートステーション事業	P21
一6 ジョブ・カード作成支援推進事業	P25
一7 津市生活困窮者就労準備支援事業	P27
一8 会館維持管理、法定点検状況表	P30
一9 自動販売機月別手数料・売上一覧表	P31
一10 第3期中期経営計画 取組課題	P32

附属明細書

資料-1

公益財団法人三重県労働福祉協会

1. 日程順経過報告

月 日 (曜日)	内 容	開 催 場 所
4月 13日	月 三重労働局監査(ｼﾞｮﾌﾞ・ｶｰﾄﾞ 作成支援推進事業)	勤福会館 第4会議室
14日	火 第1回理事会 書面決議	
16日	木 三重労働局監査(地域連携事業)	勤福会館 第4会議室
17日	木 三重労働局監査(サポートステーション事業)	三重労働局
20日	月 第1階臨時評議員会 書面決議	
21日	火 貸会議室休業 ～ 5/6	勤福会館
5月 11日	金 第1回三役会 書面決議	
15日	金 協会監事監査	勤福会館 特別会議室
27日	水 第2回理事会 書面決議	
6月 18日	木 暮らしほっとステーションみえ総会 三重県勤労者ゆとり創造基金協会定時評議員会	勤福会館 講堂 勤福会館 講堂
19日	金 中部会館協定期総会 書面決議	
26日	金 第8回定時評議員会 書面決議	
29日	月 第3回理事会 第2回三役会 勤労者福祉会館管理運営委員会 就労支援事業統括責任者会議	勤福会館 特別会議室
7月 13日	月 労福協理事会	勤福会館 研修室
20日	月 氷河期世代活躍支援プラットフォーム会議 書面決議	
21日	火 第3回三役会	勤福会館 第3会議室
28日	月 第1回消防(防災)訓練	勤福会館
8月 6日	木 労使協議会	勤福会館 第3会議室
20日	木 第4回三役会	勤福会館 第3会議室
25日	火 第5回三役会 書面決議	
9月 10日	木 労福協チャリティコンペ	セブンスリーG.C
17日	木 労福協事業推進会議	勤福会館 講堂
25日	金 全国会館協定期総会 書面決議	
10月 16日	金 労福協理事会	勤福会館 講堂
27日	火 就職氷河期世代支援セミナー	オンライン開催
29日	木 労福協周年事業検討委員会	勤福会館 特別会議室
11月 2日	月 労福協周年事業事務局会議	労福協事務局
12日	木 就労支援事業統括責任者会議 第6回三役会	勤福会館 特別会議室

附属明細書

資料-1

公益財団法人三重県労働福祉協会

月 日 (曜日)		内 容	開 催 場 所	
11月	17日	火	ジョブカード事業ズーム会議	オンライン開催
	25日	水	勤労者福祉会館管理運営委員会 第5回理事会	勤福会館 特別会議室
12月	6日	土	就職氷河期世代を支える家族セミナー	アスト津
	11日	金	若者応援就活フェア IN 四日市	四日市市文化会館
	13日	日	文化事業(プリザーブド・フラワー・アート)	勤福会館 講堂
	14日	月	第2回消防(防災)訓練 労福協政策福祉研修会 労福協事業推進会議	勤福会館 講堂
1月	12日	火	労福協周年事業検討委員会	勤福会館 第2会議室
	15日	金	ジョブカード事業ズーム研修会	オンライン開催
	18日	月	労福協理事会	勤福会館 講堂
2月	1日	火	指名審査会	勤福会館 特別会議室
	8日	月	労福協事業推進会議 就職氷河期世代支援セミナー講演会	勤福会館 講堂 オンライン開催
	9日	火	三役会	勤福会館
	15日	月	労福協周年事業検討委員会	勤福会館 特別会議室
	21日	日	文化事業(プリザーブド・フラワー・アート)	勤福会館 講堂
	22日	月	労福協総務委員会	勤福会館 第4会議室
3月	1日	月	勤労者福祉会館入札会	勤福会館 特別会議室
	11日	木	労使協議会 労福協・連合チャリティゴルフコンペ実行委員会	勤福会館 特別会議室 勤福会館 第2会議室
	15日	月	ゆとり創造基金協会臨時評議委員会 労福協理事会	勤福会館 講堂 勤福会館 講堂
	16日	火	三役会	勤福会館
	18日	木	理事会	勤福会館 特別会議室
	24日	水	就労支援事業統括責任者会議	勤福会館 第3会議室
	29日	月	第2回臨時評議委員会 書面決議	
	31日	水	第7回理事会 書面決議	

会議室利用状況(稼働率)

資料-2

令和2年度

区分	4月分		5月分		6月分		7月分		8月分		9月分		10月分		11月分		12月分		1月		2月		3月		合計		
	労働 一般 計	稼働 率	労働 一般 計	稼働 率	労働 一般 計	稼働 率	労働 一般 計	稼働 率	労働 一般 計	稼働 率	労働 一般 計	稼働 率	労働 一般 計	稼働 率	労働 一般 計	稼働 率	労働 一般 計	稼働 率	労働 一般 計	稼働 率	労働 一般 計	稼働 率	労働 一般 計	稼働 率	労働 一般 計	稼働 率	
	講堂	1 3 4	12%	3 5 8	19%	10 15 25	48%	3 17 20	42%	0 29 29	63%	2 43 45	98%	7 35 42	78%	6 31 37	84%	9 26 35	73%	6 22 28	58%	16 25 41	93%	13 18 31	70%	76 269 345	61.8%
研修室	1 4 5	15%	3 11 14	33%	10 13 23	44%	6 17 23	48%	9 18 27	59%	4 19 23	50%	5 45 50	93%	3 40 43	98%	5 33 38	79%	1 53 54	113%	0 46 46	105%	1 22 23	52%	48 321 369	66.1%	
第4会議室	0 3 3	9%	1 5 6	14%	4 3 7	13%	1 13 14	29%	4 8 12	26%	4 12 16	35%	7 10 17	31%	4 8 12	27%	6 4 10	21%	8 18 26	54%	3 14 17	39%	4 6 10	23%	46 104 150	26.9%	
第3会議室	0 1 1	3%	0 3 3	7%	5 5 10	19%	5 7 12	25%	3 19 22	48%	5 23 28	61%	4 18 22	41%	12 13 25	57%	4 14 18	38%	2 27 29	60%	4 20 24	55%	8 5 13	30%	52 155 207	37.1%	
第2会議室	5 2 7	21%	2 6 8	19%	8 8 16	31%	10 12 22	46%	1 10 11	24%	8 11 19	41%	11 20 31	57%	3 21 24	55%	2 19 21	44%	6 22 28	58%	3 23 26	59%	7 22 29	66%	66 176 242	43.4%	
特別会議室	0 1 1	3%	0 0 0	0%	6 4 10	19%	1 7 8	17%	2 8 10	22%	5 5 10	22%	6 2 8	15%	5 14 19	43%	4 6 10	21%	2 20 22	46%	5 9 14	32%	1 38 39	89%	37 114 151	27.1%	
計	7 14 21	10%	9 30 39	15%	43 48 91	29%	26 73 99	34%	19 92 111	40%	28 113 141	51%	40 130 170	52%	33 127 160	61%	30 102 132	46%	25 162 187	65%	31 137 168	64%	34 111 145	55%	325 1139 1464	43.7%	
会議室稼働日数	17 (13休)		21 (10休)		26 (4休)		24 (7休)		23 (8休)		23 (7休)		27 (4休)		22 (8休)		24 (7休)		24 (7休)		22 (6休)		26 (5休)		279 (86休)		365

令和元年度

区分	4月分		5月分		6月分		7月分		8月分		9月分		10月分		11月分		12月分		1月		2月		3月		合計		
	労働 一般 計	稼働 率	労働 一般 計	稼働 率	労働 一般 計	稼働 率	労働 一般 計	稼働 率	労働 一般 計	稼働 率	労働 一般 計	稼働 率	労働 一般 計	稼働 率	労働 一般 計	稼働 率	労働 一般 計	稼働 率	労働 一般 計	稼働 率	労働 一般 計	稼働 率	労働 一般 計	稼働 率	労働 一般 計	稼働 率	
	講堂	1 24 25	54%	2 23 25	57%	4 29 33	66%	4 26 30	60%	4 30 34	71%	1 28 29	69%	1 36 37	77%	2 37 39	85%	3 27 30	65%	1 29 30	71%	1 34 35	80%	3 6 9	20%	27 329 356	64.5%
研修室	3 10 13	28%	1 25 26	59%	3 38 41	82%	3 42 45	90%	5 18 23	48%	1 35 36	86%	0 43 43	90%	3 30 33	72%	1 18 19	41%	4 19 23	55%	4 31 35	80%	1 3 4	9%	29 312 341	61.8%	
第4会議室	1 3 4	9%	3 8 11	25%	3 10 13	26%	3 10 13	26%	5 13 18	38%	2 7 9	21%	1 9 10	21%	2 11 13	28%	0 9 9	20%	3 13 16	38%	2 23 25	57%	4 9 13	30%	29 125 154	27.9%	
第3会議室	0 11 11	24%	3 14 17	39%	6 13 19	38%	4 21 25	50%	4 29 33	69%	1 15 16	38%	3 29 32	67%	4 17 21	46%	2 10 12	26%	5 17 22	52%	5 24 29	66%	5 3 8	18%	42 203 245	44.4%	
第2会議室	6 6 12	26%	8 8 16	36%	6 9 15	30%	7 16 23	46%	3 14 17	35%	5 19 24	57%	9 16 25	52%	10 10 20	43%	7 3 10	22%	7 8 15	36%	8 14 22	50%	4 13 17	39%	80 136 216	39.1%	
特別会議室	9 4 13	28%	6 9 15	34%	4 6 10	20%	3 8 11	22%	5 7 12	25%	13 9 22	52%	10 5 15	31%	4 8 12	26%	5 5 10	22%	8 11 19	45%	6 6 12	27%	4 4 8	18%	77 82 159	28.8%	
計	20 58 78	28%	23 87 110	42%	26 105 131	44%	24 123 147	49%	26 111 137	48%	23 113 136	54%	24 138 162	56%	25 113 138	50%	18 72 90	33%	28 97 125	50%	26 132 158	63%	21 38 59	23%	284 1187 1471	44.4%	
会議室稼働日数	23 (7休)		22 (9休)		25 (5休)		25 (6休)		24 (7休)		21 (9休)		24 (7休)		23 (7休)		23 (8休)		21 (10休)		22 (7休)		23 (8休)		276 (90休)		366

三重県 委託事業

令和2年4月～令和3年3月

おしごと広場みえ運営事業及び就職相談アドバイザー事業 事業実績報告

1. 事業の概要

「おしごと広場みえ」において、県内での就職を希望する若年求職者のニーズに応じたきめ細かいサービスの提供と、企業の人材確保のニーズに対して県等が取り組む各種U・Iターン事業等に参加体験した若年求職者等を、同所が実施する就労支援サービスに誘引することで、県内企業の人材確保と若者の県内定着につなげていく。

また「ええとこやんか三重 移住相談センター」へ就職アドバイザーを配置することで、首都圏からの人材還流の取組との連携強化を図る。

(1) キャリアコンサルティング業務

① おしごと広場みえにおけるキャリアコンサルティングの実施

940件 (目標数値：320件)

② 経済団体・県内大学等におけるキャリアコンサルティングの実施

10回 (目標数値：10回)

(2) U・Iターン促進業務

① 県外大学への訪問業務

延べ23校 (目標数値：100校)

<大学訪問>

訪問日時	訪問大学名
9月23日(水)	愛知学院大学
〃	東海学園大学
〃	名古屋学院大学
〃	金城学院大学
9月28日(月)	南山大学
〃	愛知淑徳大学
〃	愛知大学
10月7日(水)	椋山女学園大学
〃	名城大学

計 9校

<UIJ ターン就職相談会>

実施月日	大学名	開催方法
11月 4日(水)	名城大学	対面
11月13日(金)	神戸女子大学	オンライン

11月14日(土)	京都女子大学	対面
11月20日(金)	地方人材還流促進協議会	オンライン
12月3日(木)	龍谷大学	オンライン
12月4日(金)	関西大学	オンライン
12月11日(金)	京都産業大学	オンライン
12月14日(金)	愛知学院大学	オンライン
12月14日(月)	武庫川女子大学	オンライン
12月16日(水)	関西学院大学	オンライン
12月16日(水)	近畿大学	オンライン
12月17日(木)	愛知大学	オンライン
12月18日(金)	椋山女学園大学	オンライン
1月8日(金)	京都橘大学	オンライン

計 14校

② 首都圏における就職相談の実施

(ア) 移住相談センターにおける就職相談の実施

対面 : 28件

Web : 14件

合計 : 206件 (目標数値 : 延べ350件)

(イ) UI ターン就職セミナーの開催

第1回「ええとこやんか三重UIターンセミナー ～三重の仕事と暮らし編～」

開催日 : 令和2年8月30日(日)

オンライン開催

参加団体 : 7 (自治体 3/企業 4)

セミナー参加者 : 12名

個別相談参加者 : 4名

第2回「三重県U・Iターン就職情報セミナー～みえの仕事の見つけ方」

開催日 : 令和2年12月6日(日)

オンライン開催

セミナー参加者 : 8名

個別相談会参加者 : 5名

合計 : 13名

第3回「見て、聞いて、みえの企業説明会」

開催日 : 令和3年2月18日(木)

オンライン開催

参加企業数 : 3社

セミナー参加者 : 3名

個別相談会参加者 : 3名

合計：6名

第4回「みえの企業、ちょっと気になる！ここだけの話を聞いてみよう」

開催日：3月6日（土） 13:00～15:30 オンライン開催

参加企業数：3社

セミナー参加者：3名

個別相談会参加者：0名

合計：3名

(ウ) 大学生のU・Iターン就職支援

a) 大学訪問

訪問：13回

Web：28回 計：41回

b) 大学主催の就職イベントへの参加

参加数：5回

参加者数：4名 計：5回

a・bの合計46回（目標数値：60回）

③ 三重県関西事務所等における就職相談

対面：9回

Web：8回

Mail：3回

合計17回（目標数値：24回）

(3) 若年求職者を対象とした就職支援事業、県内企業の人材確保に関する事業の実施

① 若年者地域連携事業の支援

若年者地域連携事業全般の支援を実施

例) おしごと広場みえミニ企業説明会 参加企業募集及び運営

就活デビュー講座 運営全般の支援

就活実践セミナー 運営全般の支援

② 「企業の魅力発見フェア」の開催

第1回 日 時：令和2年9月5日（土）

「企業の魅力発見フェア in 桑名」

主催：三重県労働福祉協会 後援：ハローワーク桑名

参加企業 15社 参加者 41名

第2回 日 時：令和2年11月7日（土）

「企業の魅力発見フェア in 伊勢」

主催：三重県労働福祉協会

共催：ハローワーク伊勢・伊勢商工会議所・三重県学生就職連絡協議会

参加企業 17社 参加者 52名

(4) 県内企業への訪問業務

135社 (目標数値：60社)

(5) 県内大学等への訪問

訪問月日	訪問大学名	内容
6月1日	皇学館大学	今年度の連携方法についての協議
6月18日	三重大学	今年度の連携方法についての協議
9月15日	皇学館大学	就職状況の確認・学内登録会打合せ・ 「企業の魅力発見フェア in 伊勢」打合せ ・今後の学生支援についての協議
〃	四日市大学	就職状況の確認・学内登録会打合せ・ 今後の学生支援についての協議
〃	鈴鹿医療科学大学	就職状況の確認・今後の学生支援につ いての協議
〃	高田短期大学	就職状況の確認・今後の学生支援につ いての協議
〃	三重短期大学	就職状況の確認・今後の学生支援につ いての協議・「三重短期大学就職支援事業」 についての協議
9月17日	鈴鹿大学	就職状況の確認・今後の学生支援につ いての協議
〃	三重大学	就職状況の確認・今後の学生支援につ いての協議
1月12日	四日市大学	内定率の確認・未内定学生支援メニ ューの案内
〃	ユマニテク短期大学	内定率の確認
〃	四日市工業ものづく り創造専科	内定率の確認・今後の連携についての協 議
1月13日	三重短期大学	内定率の確認・未内定学生支援メニ ューの案内

1月14日	三重大学	内定率の確認・未内定学生支援メニューの案内
1月26日	鈴鹿大学	内定率の確認・未内定学生支援メニューの案内
〃	高田短期大学	内定率の確認

合計 17回

(6) 既卒女性への就職支援業務

おしごと広場みえ相談窓口：月2回開催 相談者数：7名
 フレンテ・みえ相談窓口：月1回開催（9月～2月）相談者数：3名

(7) 就職氷河期世代の非正規雇用者等への就職支援業務との連携

① 支援機関研修会開催の運営支援

第1回

日時：令和2年10月27日（火）

「就職氷河期世代の就職支援」

講師 埼玉大学基盤教育研究センター 教授
 石坂 督規氏

講演会参加者 82名
 ワークショップ参加者 25名
合計 107名

第2回

日時：令和3年2月8日（月）

「就職氷河期世代の希望を支えるために」

講師 東京大学社会科学研究所 教授
 玄田 有史

講演会参加者 66名
 ワークショップ参加者 15名
合計 81名

② 就労サポート事業

相談件数：126件

③ 企業開拓業務

訪問件数：156件
 受入企業数：10件

(8) 「おしごと広場みえ」における委託事業の運営管理に係る事項

① 利用者アンケートの実施

第1回実施期間：令和2年9月1日～9月末日

有効回答件数：38件（無回答：2件）

満足度：100%（未回答除く）（目標数値：98%）

第2回実施期間：令和3年3月1日～3月末日

有効回答件数：28件（無回答：2件）

満足度：100%（未回答除く）（目標数値：98%）

② 「若者就労支援者ミーティング」の開催

第1回

「令和2年度三重県の若者就労支援施策について」

開催日：令和2年6月19日（金）

講師：三重県雇用経済部雇用対策課

班長 中村 元保氏

参加者数：14名

第2回

「コロナ禍における求人の動向について」

開催日：令和2年7月31日（金）

講師：津公共職業安定所 求人企画部門

総括職業指導官 山崎 浩一氏

参加者数：14名

第3回

「就職氷河期世代への対応について」

開催日：令和2年9月25日（金）

講師：三重県経営者協会

中村 和仁氏

参加者数：14名

第4回

「ハローワークにおける雇用管理指導援助業務について」

開催日：令和2年12月3日（木）

講師：津公共職業安定所

雇用指導官 米澤 尚之氏

参加者数：10名

第5回

「コロナ禍における学生の就職活動の現状」

開催日：令和3年1月15日（金）
 講師：皇學館大学 学生支援部 就職支援担当
 課長 伊東 雅法氏

参加者数：17名

第6回

「公正選考採用から考えること」
 開催日：令和3年3月12日（金）
 講師：三重県人権教育研究協議会
 井波 利彰氏

参加者数：12名

(10) 統括マネジメント業務

① 延べ利用者数

	H31 (R2)	R2	R2/H31	前年比
4月	1,860	567	30.5%	75.1%
5月	877	304	34.7%	
6月	791	622	78.6%	
7月	922	828	89.8%	
8月	686	786	114.6%	
9月	678	732	108.0%	
10月	1,330	947	71.2%	
11月	737	903	122.5%	
12月	1,411	798	56.6%	
1月	1,012	601	59.4%	
2月	997	847	85.0%	
3月	1,080	1,366	126.5%	

計 9,301件 (目標数値：13,500件)

② 新規登録者数

	H31 (R2)	R2	R2/H31	前年比
4月	91	49	53.8%	
5月	83	25	30.1%	
6月	72	62	86.1%	
7月	98	116	118.4%	
8月	65	68	104.6%	
9月	56	50	89.3%	

10月	205	96	46.8%	78.3%
11月	92	182	197.8%	
12月	121	55	45.5%	
1月	144	50	34.7%	
2月	128	122	95.3%	
3月	130	131	100.8%	

計 1,006名 (目標数値: 1,640件)

③ 就職者数

	H31 (R2)	R2	R2/H31	前年比
4月	41	24	58.5%	91.2%
5月	64	45	70.3%	
6月	63	61	96.8%	
7月	90	44	48.9%	
8月	73	53	72.6%	
9月	41	43	104.9%	
10月	24	67	279.2%	
11月	26	33	126.9%	
12月	50	19	38.0%	
1月	139	22	15.8%	
2月	22	121	550.0%	
3月	86	124	144.2%	

計 656名

④ 就職率

65.2% (目標数値: 就職率62%)

厚生労働省 三重労働局受託事業

令和2年4月～令和3年3月 若年者地域連携事業 事業実績報告

1. 事業の概要

「おしごと広場みえ」を中心に、若者の職業意識の形成や早期就職・職場定着を促進するとともに、若者の雇用機会の拡大を図ることを目的とする。地域の企業や団体、学校、行政機関と連携し、大学生等や若年求職者（フリーターを含む）を対象に、三重県内中小企業の魅力や取り組みを若者に発信する合同企業説明会などを実施する。

また自己の適性に対する理解、職業に対する理解、地域企業に対する理解を深めるために、キャリア形成支援セミナー、就活実践セミナー、キャリアカウンセリングなどを開催する。

さらに「内定者向け講習会」「おしごと広場みえ同窓会」などを開催し、若者の職場定着・早期離職の防止につなげ、総合的な若年就職支援を行う。

(1) 次世代を担う若年者の不足が見込まれる三重県内の中小企業における人材確保支援

1) 企業説明会の開催

- ・「おしごと広場みえミニ企業説明会」

(主催：みえ新卒応援ハローワーク・三重県労働福祉協会)

合計 開催 10回 参加企業 30社 参加者 169名

- ・「おしごと広場みえオンラインミニ企業説明会」

(主催：みえ新卒応援ハローワーク・三重県労働福祉協会)

合計 開催 11回 参加企業 33社 参加者 52名

- ・おしごと広場みえミニ企業説明会に参加した企業への見学者数

参加企業 4社 参加者 20名

- ・三重県立津高等技術学校学内説明会「三重のものづくり企業交流会」

(主催：三重県労働福祉協会)

コロナウイルス感染対策により開催を見合わせ中止した

- ・「若者応援就活フェア」(主催：三重県労働福祉協会)

合計 開催 2回 参加企業 50社 参加者 136名

- ・「若者応援就活フェア」(主催：三重労働局 共催：三重県労働福祉協会)

合計 開催 1回 参加企業 20社 参加者 36名

- ・「三重の就職セミナー」(主催：三重県下商工会議所 共催：三重県労働福祉協会)

合計 開催 2回 参加企業 127社 参加者 328名

- ・「三重の就職・転職フェア」(主催：三重県中小企業団体中央会 共催：三重県労働福祉協会)

合計 開催 2回 参加企業 42社 参加者 50名

2) 企業見学会の開催

- ・三重県立津高等技術学校「三重のものづくり企業職場見学ツアー」
- ・「おしごと広場みえミニ企業説明会参加企業見学会」

コロナウイルス感染対策により開催を見合わせ中止した

3) 企業交流会の開催

- ・逆指名型交流会（主催：三重県労働福祉協会）

コロナウイルス感染対策により開催中止した

(2) 若年者に対する雇用支援サービス

1) 若年求職者に対する就職支援

- ・「適職さがし応援プロジェクト」の開催
- ・「仕事の魅力発見！！職場見学会」の開催

新規受講者 35名

採用決定者 14名

【職場見学】

運輸・物流	1名	製造	2名	児童発達支援	1名
介護	1名	医療・保育	3名	販売	1名
機器設置	1名	企画マーケティング	1名		
小売	1名	空調設置	1名		

計 10社 参加者 13名

【職場体験実習】

実施なし

2) 若年者による集団的就職活動の支援

- ・就活デビュー講座の開催

セミナー	開催回数	参加者数
人事のホンネ!! ※	1回	12名
魅力あるエントリーシートの書き方セミナー	3回	23名
就活のためのビジネスマナー	2回	12名
プレ・模擬面接会	7回	19名
メイクアップセミナー&写真撮影会	5回	24名
人事担当者によるリアル模擬面接会	3回	15名

合計 開催 21回 参加者 105名

- ・就活実践セミナーの開催

セミナー	開催回数	参加者数
じぶん発見セミナー 第1ステップ	81回	177名
じぶん発見セミナー 第2ステップ	88回	109名
Web じぶん発見セミナー 第2ステップ	9回	10名
応募書類の添削&面接対策	-	276名
Web 応募書類の添削&面接対策	-	208名
模擬面接会	54回	142名

Web 模擬面接会	38回	93名
模擬集団面接会	1回	11名
Web 模擬集団面接会	3回	8名
模擬集団討論	3回	11名
キャリアカウンセリング	-	433名
Web キャリアカウンセリング	-	175名
印象力アップセミナー	6回	6名

合計 参加者 1,659名

・ハローワークでの出張セミナーの開催

ハローワーク	開催回数	参加者数
ハローワーク桑名	15回	40名
ハローワーク鈴鹿	10回	26名
ハローワーク松阪	9回	42名
ハローワーク津	6回	10名

合計 開催 40回 参加者 118名

・県内大学等での出張相談・出張セミナーの開催

◆大学での出張相談

大学	開催回数	参加者数
三重大学	0回	0名
三重短期大学	9回	26名
皇學館大学	8回	30名

合計 開催 17回 参加者 56名

◆合同企業説明会での出張相談・出張セミナーの開催

開催日	合同企業説明会	開催場所	参加者数
令和2年 8月 19日	三重の就職セミナー	四日市市	3名
令和2年 10月 16日	若者応援就活フェア	津市	4名
令和2年 11月 13日	三重の就職・転職フェア	四日市	2名
令和2年 11月 14日	三重の就職・転職フェア	四日市	7名
令和3年 3月 15日	三重の就職セミナー	松阪	5名
令和3年 3月 11日	ミニセミナー	松阪	60名
令和3年 3月 15日	ミニセミナー	松阪	41名

合計 開催 7回 参加者 122名

◆大学等での出張模擬面接・就職セミナーの開催

学校名	実施内容	開催回数	参加者数
三重県立津高等技術学校	模擬面接	3回	43名
四日市大学	模擬面接	1回	22名
三重短期大学	自分発見セミナー	7回	18名

合計 開催 11回 参加者 83名

・おしごと広場みえサポーター登録

登録者 合計 27名

3) SNS を活用した就職支援

- ・メール相談 参加者 276名

4) 支援サービス向上等のための取り組みの実施

- ・支援者ミーティング 開催 6回
- ・サービス向上ワーキング 開催 7回
- ・来所者アンケート 開催 2回

5) 若者就業サポートステーションみえとの連携

- ・就労支援事業統括者会議 開催 4回

6) その他若年者就職支援

- ・津市教育支援センター ほほえみ教室
新型コロナウイルス感染拡大のため中止の申し入れがあった。
- ・就職情報及び就職活動に必要な書籍の整備
就職情報及び就職活動に必要な書籍を整備した。

7) 若年者の採用拡大のための広報及び啓発事業

- ・SNS を活用した「おしごと広場みえ」のサービス内容及びセミナー等の案内
 - ◆おしごと広場みえツイッター 投稿数 53件 フォロワー数 113名
- ・街頭啓発
公務員試験会場前で「おしごと広場みえ」のPR 広告入りティッシュ配布の実施
開催 3回 配布枚数 1,400枚
- ・大学等での「おしごと広場みえ」PR ガイダンス・登録会の開催

◆PR ガイダンス

大学	開催回数	参加者数
四日市大学	1回	11名
三重短期大学	3回	124名
皇學館大学	2回	82名

合計 開催 6回 参加者 217名

◆登録会

大学	開催回数	参加者数
四日市大学	1回	11名
三重短期大学	3回	43名
皇學館大学	2回	82名

合計 開催 6回 参加者 136名

◆各県内大学等訪問、定期的ハローワーク各所へ訪問してチラシ配布・情報提供

ハローワーク各所 53回

県内大学等 11回

- ・新規登録者数 学生 667名 既卒 339名 合計 1,006名
- ・内定・就職者数 学生 410名 既卒 246名 合計 656名
- ・来所者数 学生 3,932名 既卒 4,173名 合計 8,105名

(3) UIJ ターン就職に係る支援サービス

1) 就職説明会の開催

- ・「企業の魅力発見フェア in みえ」(主催：三重県労働福祉協会)

参加企業 31社 参加者 19名

- ・県内ハローワークと連携し、企業説明会を開催

◆「企業の魅力発見フェア in 桑名」

(主催：三重県労働福祉協会 後援：ハローワーク桑名・)

参加企業 14社 参加者 41名

◆「企業の魅力発見フェア in 伊勢」

(主催：三重県労働福祉協会 共催：ハローワーク伊勢)

参加企業 16社 参加者 52名

合計 開催 2回 参加企業 30社 参加者 93名

2) 県内外大学での学内出張セミナーの開催

県外大学で学内での就職支援セミナーを開催し、県内就職を促進した。

学校名	実施内容	開催回数	参加者数
中部大学	オンラインガイダンス	1回	3名

合計 開催 1回 参加者 3名

(4) 地域の地元定着に係る支援

1) 内定者向けの定着支援の実施

- ・内定者向け講習会の開催

セミナー		参加者数
三重県立津高等技術学校	学内フォローアップセミナー	15名
三重県立四日市工業高等学校	ものづくり創造専攻科	12名
内定者向け講習会 (再委託：三重県経営者協会)		15名

合計 開催 3回 参加者 42名

- ・内定者フォローアッププログラム

就職アフターフォローカードの配布 配布数 27名

キャリアカウンセリング・フォローアップセミナーの開催

開催 14回 参加者 17名

2) 新入社員向け職場定着支援の実施

- ・おしごと広場みえ同窓会の開催 合計 開催 1回 参加者 3名

新型コロナウイルス感染対策のため計画していた10月、11月、2月は開催中止

- ・職場定着巡回訪問 合計 11名

- ・電話による職場定着状況確認 合計 17名

(5) 都道府県が創意工夫し自ら企画・立案した、都道府県の強み・特色を生かした事業

1) 企業説明会の開催

- ・「企業の魅力発見フェア in みえ」(主催：三重県労働福祉協会)

参加企業 31社 参加者 19名

- ・ 県内ハローワークと連携し、企業説明会の開催

- ◆ 「企業の魅力発見フェア in 桑名」

(主催：三重県労働福祉協会 後援：ハローワーク桑名・)

参加企業 14社 参加者 41名

- ◆ 「企業の魅力発見フェア in 伊勢」

(主催：三重県労働福祉協会 共催：ハローワーク伊勢)

参加企業 16社 参加者 52名

合計 開催 2回 参加企業 30社 参加者 93名

2) 企業見学会の開催

三重大学が設置する地域拠点サテライトを活用し、県内の各大学生が地域企業と交流を深め、県内企業や地域への興味・関心を高める機会を図った。

(主催：三重大学 後援：三重県労働福祉協会)

コロナウイルス感染対策を考慮して中止

厚生労働省 三重労働局受託事業

令和2年6月～令和3年2月 年度後半における集中的な就職面接会開催事業 事業報告

事業の概要

大学、大学院、短期大学、高等専門学校及び専修学校において令和3年3月卒業予定者、留学生、及び既卒3年以内の求職者を対象に就職説明会を開催し、企業との出会いの場を提供することで、早期に就職決定できるよう支援する。

	開催日	開催場所	実施状況	参加企業数	参加人数
第1回	12月11日	四日市市文化会館	実施	29社	69名
第2回	2月4日	アスト津	実施	18社	67名

※新型コロナウイルス感染拡大防止対策実施により参加企業数を変更（減少）して実施した。

鳥羽市受託事業

令和2年10月～令和3年3月

～とばびと活躍プロジェクト～ 市民就労促進業務 事業報告

事業の概要

近い将来（2040年）に予想される人口減少と少子高齢化等による諸問題を受けて、鳥羽市では「とばびと活躍プロジェクト」を作成し、市民就労促進を中心とした施策を展開していくにあたり、将来に渡り労働力を確保するため、高校2年生を対象とした市内事業所のPR動画やPRシートを作成し、閲覧いただくことにより鳥羽市にて就労するきっかけを作ることを目的とする。

(1) 参加市内事業所4社（鳥羽市農水商工課より選定）

- ①伊勢志摩リゾートマネジメント株式会社
- ②志摩マリンレジャー株式会社
- ③株式会社戸田家
- ④鳥羽磯部漁協組合

(2) 広報活動

動画配信案内を記載した独自チラシを作成し、三重県内の県立高等学校67校へ2度案内を送付して閲覧募集を行った。

(3) PR動画の視聴期間

令和3年1月15日動画完成後、(公財)三重県労働福祉協会のホームページにて令和3年1月27日(水)～令和3年3月25日(木)の期間公開し視聴可能とした。

(4) PR動画閲覧会の実施

①昴学園高校

令和3年2月1日(月) 昴学園高校の就職活動授業にて視聴

13時5分～ 51名の参加

2年生を対象とした授業にコーディネーターが参加してガイダンスを行った。

②石薬師高校

令和3年3月16日(火) 石薬師高校就職ガイダンスにて視聴

1年生を対象とした学校内ガイダンスに参加した。

1回目 9時45分～10時15分 6名の参加

2回目 10時25分～10時55分 8名の参加

コーディネーターが参加してガイダンスを行った。

③南伊勢高校度会校舎

令和3年1月20日(水)地元企業合同企業説明会に参加予定であったが、コロナウィルス感染拡大防止のため中止となった。

④南伊勢高校南勢校舎

令和3年2月5日(金)授業内にて視聴

1年生を対象とした授業内で視聴 13名の参加

⑤志摩高校

1、2年生のクラス掲示板に案内チラシを掲示し希望者が視聴

(5) PR 動画ホームページ視聴回数 (令和3年3月25日現在)

①伊勢志摩リゾートマネジメント株式会社 184回

②志摩マリンレジャー株式会社 145回

③株式会社戸田家 284回

厚生労働省受託事業

令和2年度 地域若者サポートステーション事業 事業実績報告書

1. サポステ事業

(1)人員体制

- ① 国費で措置の者
 - ・総括コーディネーター (1名)
 - ・主任コーディネーター (1名)
 - ・コーディネーター (3名)
 - ・職場体験コーディネーター (2名)
 - ・情報管理事務員 (1名)
 - ・事務員 (1名)
 - ・事務補助員非常勤 (1名)
- ② 地方公共団体予算で措置の者
 - ・ジョブエスコート事業担当 (1名)

(2) 相談支援事業

①事業目標に対する実績

項目	目標	実績
①就職率(全体)	60%	60.3%
(うち40歳代就職率)	35%	20%
(うち職場体験プログラム参加者就職率)	50%	71%
②定着率	69%	83.7%
③利用者満足度	90%	100%
④新規登録件数	220件	156件
(うち40歳代)		25件
⑤就職等件数	132件	94件
(うち40歳代就職等件数)	9件	5件
(うち20h未満就職件数)	20件	23件
(うち定着SU支援対象就職者)	20件	14件
⑥進学		1件
⑦中退者情報共有件数	5件	2件
⑧アウトリーチ支援件数	5件	0件
⑨職場体験件数	60件	45件
⑩相談件数	2000件	2164件
(うち40歳代)		188件
会場別	アスト	1068件
	鈴鹿	37件
	亀山	2件
	松阪	65件
	鈴鹿HW	40件
	津HW	77件
	松阪HW	39件
	臨時	49件
電話相談		785件
メール相談		2件

- ②セミナー等実施(県事業と併せて報告)…別紙 1
- ③高校連携
 - ・サポステ部会: 県教育委員会高校教育課と情報共有(6/19、11/19、3/23)
 - ・三重県高等学校進路指導協議会主催研修会でサポステ案内(12/8)
- ④地方自治体措置: セミナー等実施(県事業と併せて報告)…別紙 1
- ⑤ネットワーク構築について
 - ・サポステ部会実施(6/19、11/19、3/23)
 - ・各機関実施のネットワーク会議に参加
 - 三重県自閉症・発達障害支援センター
 - 三重県ひきこもり地域支援センター、
 - 津地域精神保健福祉連絡協議会(こころ津むぎねっと)
 - 三重県こども若者支援協議会
 - みえ不登校支援ネットワーク 等
- ⑥ハローワークとの連携
 - ・月 1 回出張相談及び必要に応じ、担当者会議、ケース会議など実施した。
 - ・自己理解セミナーとして GATB を実施した。
- ⑦広報について
 - ・「高校中退者支援事業」チラシを対象地域の高校に配布した。
 - ・県・市町の広報誌 HP
 - ・サポステ・みえ HP
 - ・所属しているネットワーク(下記 3 件)の構成団体の HP にリンク貼り付け
 - みえ若者就労支援ネットワーク
 - みえ不登校支援ネットワーク
 - 津地域精神保健福祉連絡協議会(こころ津むぎねっと)
 - ・会議開催時に案内等
 - 三重労働局・ハローワーク連携会議
 - 三重障害者職業センター 発達障害者雇用支援連絡協議会
 - ・報道機関
 - 県政記者クラブ所属の新聞社、テレビ局 各社 18 社

(3)職場体験支援事業

①参加者数: サポステ事業 45 件(目標 60 件/75%達成)

県事業 14 件(目標 15 件/93%達成)

②事業所開拓数

業種	開拓事業	受入可能	体験者数	
	所数	事業所数	県事業	サポステ
医療・福祉・介護	6	2		3
教育	0	0		
運輸業	1	0		
卸売小売業	4	2	1	4
建設業	0	0		
宿泊飲食業	8	3		2
生活関連サービス業	3	1		
製造業	35	10		27
農林水産業	8	4	3	7
情報・通信業	0	0		2
その他	10	3	10	
計	75	25	14	45

*ただし、体験者数は過年度より開拓済の事業所で実施した分も含む

(4) 定着・ステップアップ事業

①定着率(6ヶ月前に就職した人の定着状況): 83.7%(目標 69%)

②セミナーなど実施(県事業と併せて報告)…別紙 1

③就職者数: 14 件(目標 20 件/70%達成)

三重県受託事業

令和2年度 ジョブエスコート事業 事業実績報告書

1. 人員体制

ジョブエスコート事業担当(1名)

2. 若年無業者就労支援事業(別紙1参照)

別紙 1

サポステ事業

基盤的支援		参加人数計	回数計
就職力アップ	就労体験説明会(1部)	33人	15回
	パソコンクラブ	36人	16回
	GATB	21人	5回
生活習慣	ウォーキングクラブ	27人	4回
コミュニケーション力アップ	若者の集い	59人	10回
計		176人	50回

ジョブエスコート事業

就労前スキルアップ訓練(若年/氷河期)		参加人数計	回数計
コミュニケーション力アップ	自分未来予想図	4/1人	1回
	手作り工房	5/0人	2回
	アサーション&メンタルヘルス	3/1人	1回
就職力アップ	就労体験説明会	29/6人	14回
	面接トレーニング	10/0人	2回
計		51/8人	20回

実践的支援		参加人数計	回数計
就職力アップ	アサーション & メンタル	0人	0回
	アル活講座	30人	8回
	マネー講座	3人	1回
	労基法	3人	1回
計		36人	10回

長期無業理解促進		参加人数計	回数計
家族支援	親の集い	33人	9回
	家族向けセミナー(12/6)	46人	1回
計		79人	10回

社会体験(若年/氷河期)		参加人数計	回数計
ボランティア		110/17人	36回
職場見学		55/4人	54回
就労体験		11/3人	14回

三重県受託事業+サポステ職場体験支援事業

令和2年度 就職☆チャレンジ8 実績報告書

就職☆チャレンジ8:新型コロナウイルス感染症防止のため実施せず。

三重労働局受託事業

令和2年度 訓練受講希望者等に対するジョブ・カード作成支援推進事業 (3月末)

事業実績報告書

1.主旨・目的

訓練受講希望者等に対して、生涯を通じたキャリア・プランニングを促し、職業選択やキャリア形成の方向付けの支援を行うため、民間事業者を活用して、ジョブ・カードの作成支援を推進する。

2.人員体制	事務局責任者	1名	常勤・専任
	キャリアコンサルタント	10名	雇用2名、業務委託8名
	事務補助者	1名	常勤・兼任

3.事業内容

(1) 公共職業安定所利用者に対するジョブ・カードの周知・広報業務

ハローワーク利用者を対象にしたセミナーの開催、チラシの配布等を通じ3て、ジョブ・カードの周知・広報を行う。

(2) 訓練受講希望者等に対するジョブ・カードの作成支援業務

方法：三重県下ハローワーク計8カ所にキャリアコンサルタントを巡回・常駐させ、訓練受講希望者等に対してキャリアコンサルティングを行う（尾鷲・熊野は予約入り次第）。

月	火	水	木	金
津	津	津	津	津
わかもの 鈴鹿	伊賀	四日市 松阪	伊勢	わかもの 桑名

対象者：①専門実践教育訓練の受講希望者

- ①-2 特定一般教育訓練の受講希望者
- ②雇用型訓練の受講希望者
- ③日本版デュアルシステムの受講希望者
- ④長期高度人材育成コースの受講希望者
- ⑤公的職業訓練の受講希望者
- ⑥積極的キャリア形成支援が必要な者

(3) 訓練受講希望者等におけるジョブ・カードの活用効果分析業務

キャリアコンサルティングが終了した対象者に対してアンケートを実施し、半年ごとに集計、効果を分析する。

4.実績

(1) ジョブ・カードの周知・広報業務

- ・巡回ハローワークでのセミナー 実施回数 69回 参加人数 319名

安定所	桑名	四日市	鈴鹿	伊賀	津	松阪	伊勢	尾鷲	熊野
実施回数	9	9	9	9	9	9	9	4	2
参加人数	44	59	31	34	70	33	12	16	2
- ・介護労働講習でのセミナー 実施回数 1回 参加人数 20名
- ・各安定所でのミニセミナー 実施回数 0回 参加人数 0名（コロナ禍により実施不可）

(2) ジョブ・カードの作成支援業務

- ・のべ相談件数 857件 月ごとの実人数計 747名 ジョブ・カード完成件数 613件

対象者区分	①	①-2	②	③	④	⑤	⑥
実人数	405	20	0	50	40	86	146
のべ件数	438	23	0	54	54	102	186
ジョブ・カード完成件数	378	20	0	46	32	66	71

(3) ジョブ・カードの活用効果分析業務

- ・全申込者 719人のうちキャンセル 43名を除いた 676人に対してのべ 857件のジョブ・カード作成支援を行った。一人当たりの相談回数 1.27回、ジョブ・カード取得 613人（取得率 90.6%）。
- ・相談終了者 618人に対して、アンケート調査を実施した（回収 599枚、回収率 96.9%）。
- ・男女比は男 3：女 7と概ね女性が過半数を占めるものの、60歳以上で男性の比率が高くなる傾向がある中、全体として男性の割合が今までで一番高くなった。
- ・尾鷲所での相談件数が2桁になった。

5.成果と課題

- ・延べ相談件数は平成 31年度（1,018件）より減少（857件）した。ジョブ・カード完成件数は平成 31年度（604件）を若干上回った（613件）ものの、年間目標 660件には満たず。平均相談回数は一人当たり 1.27回と、前年度（1.68回）より少ない回数で JC 完成に至った。延べ件数減少と完成目標未達の要因は、コロナ禍でセミナー開催数・参加人数ともに減り、セミナーからキャリアコンに誘導するという戦略を発揮できなかったためと考える。ジョブ・カード完成件数が昨年度より増えた背景には、専門実践教育訓練等の訓練受講希望者が増えていることが挙げられる。
- ・クラウドサービスや Zoom の活用により、事務局の負担軽減と共に、現場との効果的な情報共有にも繋がった。この環境をさらに有効活用し、リモートワークの体制を整えたい。
- ・訓練受講希望者の増加や競合他社の進出を視野に入れ、WEB 予約に対応できる環境を作る。
- ・キャリアコンに力を入れつつ、コロナ禍のセミナーの在り方を立て直す（研修の充実、チラシの刷新、HW との連携、集客方法、アンケートの有効活用など）。

津市受託事業

令和2年度 津市 生活困窮者及び被保護者就労準備支援事業（令和2年4月～令和3年3月）
事業実績報告書

1. 就労準備支援事業 平成27年度、生活困窮者自立支援法の施行に伴って創設された新たな支援制度。従来の雇用施策の枠組みでの支援になじまない層に対する支援を強化・充実させるための事業。

(1) 支援事業

○人員体制
 就労準備支援担当者 1名
 就労準備支援担当者補助 1名 非常勤
 就労準備支援担当者(キャリアコンサルタントほか) 2名 サポステ事業兼務

○支援対象
 津市が就労準備支援事業による支援が必要と認める生活困窮者
 就労意欲や生活能力・稼働能力が低いなど、就労に向けた課題を多く抱える被保護者で、当事業への参加を希望する者
 具体的には、
 ・決まった時間に起床、就寝できない等、生活習慣の形成・改善が必要
 ・他者との関わりに不安を抱えており、コミュニケーション能力などの社会参加能力の形成・改善が必要
 ・自尊感情や自己有用感を喪失している
 ・就労の意欲が希薄、又は就労に関する能力が低い
 など、ハローワークにおける職業紹介、職業訓練等の従来の雇用施策によっては直ちに就労が困難な者

○支援内容
 就労準備支援プログラムの作成・見直し
 ・日常生活自立に関する支援
 ・社会生活自立に関する支援
 ・就労自立に関する支援

(2) 成果

津市が、当該事業による支援を必要と認めた生活困窮者及び被保護者
 20名 (生活困窮者 2名(含、被保護者からの移行者) 50歳代2名
 (前年同期 21名) 被保護者 18名 40歳代4名 50歳代7名、60歳代7名)

そのうち事業終了9名 (前年同期 9名)

8名	: 被保護者
50歳代 1名	(独力でハローワークでの求職活動が可能となった 期間満了)
60歳代 1名	(生花店に、3日/週 短時間就労 期間満了)
40歳代 1名	(病態が悪化し、就労困難との主治医意見)
50歳代 1名	(B型事業所に1回/週 通所を継続 期間満了)
40歳代 1名	(病態が悪化し、面談不可 期間満了)
50歳代 1名	(本人より、生活保護費受給の辞退があり支援対象外となる)
60歳代 1名	(福祉の包括的な支援に移行 期間満了)
50歳代 1名	(本人の収入が高額となり、生活保護から生活困窮者事業に移行)

そのうち新規ケース支援開始

8名	: 被保護者	生活困窮者(被保護者より移行)
40歳代 2名、50歳代 4名、60歳代 1名		50歳代 1名

実績 (令和2年4月～令和3年3月)

就労の実現	6名	40歳代 1名、50歳代 3名、60歳代 2名 (前年同期 4名)
		含、在宅ワーク 5名共に、現在定着支援中
定着支援	8名	40歳代 2名、50歳代 3名、60歳代 2名 (// 7名)
就労体験	7名 (延べ8回)	(// 3名)

相談支援回数(含、関係者間協議回数)	930回	(前年同期 715回)
訪問回数	385回	(// 154回)
事業所見学同行	12回	(// 14回)
就労継続支援事業所・市社協他関係機関との協働	261回	(// 82回)
医療機関への同行等支援	12回	(// 10回)
ハローワークへの同行等支援	4回	(// 0回)

個別セミナー開催

内 容	講 師	回 数	(前年同期)
キャリアカウンセリング コラージュ療法ほか	キャリアコンサルタント	8回	12回
履歴書添削・作成支援	就労準備支援員	1回	3回
パソコン訓練	就労準備支援員	1回	21回
職業適性検査	—	—	2回

(3) 3月末現在の支援対象人数

12名	生活困窮者	2名	(50歳代2名)
	被保護者	10名	(40歳代2名、50歳代4名、60歳代4名)

(4) 今後の課題

就労準備支援事業も4年余を経過し、その実践の中で以下のような課題が見えてきた。

- 1 健常者と障がい者の狭間の事例(いわゆるグレーゾーン)の人たちの社会参加の困難さについて
- 2 長期の無業状態の人たちが再び社会参加するための、個々の興味や課題に合わせたハンドメイドの支援プログラムの開発について
- 3 複合的要因(知的障がい、メンタル系疾患、発達障がい等)によって社会参加に対する強い不安を持っている人たちへの支援のあり方について
そのため、就労準備段階から就業、社会参加の等の課題の克服に就労支援員との連携強化が必要と考えている。

(5) 事業目標

- 1 グレーゾーンの人たち(課題1)の社会参加の場として、厚労省が推奨している「生活困窮者自立支援法に基づく認定訓練事業」制度に基づいた中間的就労の受け入れ事業所の開拓を県福祉部地域福祉課と協働して市内事業所に働きかけ、現状以下のような進捗状況となっている。
 - ① 特定非営利活動法人夢のやかた 就労継続支援B型事業所「河芸しいのみ」(受け入れ稼働中) 就労
 - ② 社会福祉法人友睦 就労継続支援B型事業所「工房T&T」(相談中)
 - ③ 株式会社S by S 就労継続支援A型事業所「アザレア」(相談中)
 - ④ 株式会社sorrento (相談中)
 - i 就労継続支援A型事業所「つばさ本社」(南丸之内)
 - ii 就労継続支援A型事業所「つばさ久居」
- 2 就労準備支援事業における被支援者ステップアッププログラム(仮称)と称して、被支援者の社会参加のためのリハビリ用プログラムを作成して個々の課題や状態像に合わせて実施している。このプログラムは展開途中であるので今後もメニューは増やしていきたいと考えている。
- 3 就労準備支援事業において、就労支援及び就労後の定着支援等就労準備事業の後段階では、就労支援員の支援が重要と思われるのでスムーズに協力関係が築けるよう日頃の情報共有等連携を密にしているところである。

令和2年度年間点検実施日・報告書提出日確認表

点検項目		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	回数
冷温水発生器 点検	点検	20日				28日		30日				4日	15日	年5回
	報告書	5/8				9/11		11/25				2/16	5/27	
冷温水発生器 チューブ清掃	点検												15日	年1回
	報告書												5/27	
冷温水発生器 煤煙測定	点検					25日						26日		年2回
	報告書					9/28						3/12		
自動制御 機器点検	点検			29日					24日					年2回
	報告書			7/28					12/18					
煤煙濃度計 校正点検	点検		22日											年1回
	報告書		5/25											
空調関係 水質検査	点検					25日					25日			年2回
	報告書					9/28					2/2			
環境測定	点検		22日		30日		25日		24日		25日		23日	年6回
	報告書		6/2		8/3		10/7		12/3		1/27		3/30	
簡易専用水道水 水質検査	点検			15日							25日			年2回
	報告書			29日							2/2			
貯水槽清掃	点検											28日		年1回
	報告書											3/16		
簡易専用水道水 施設検査	点検							23日						年1回
	報告書							11/2						
電気工作物 年次点検	点検					2日								年1回
	報告書					2日								
電気工作物 定期点検	点検	7日		4日		2日		6日		9日		9日		年6回
	報告書	7日		4日		2日		6日		9日		9日		
浄化槽点検	点検	3 10 8 15 5 12 3 10 7 20 4 12 2 9 6 13 4 11 8 15 4 12 5 12	17 24 22 28 19 26 17 29 25 28 18 25 16 23 20 27 18 24 21 29 19 27 19 26											月4回
	報告書									27日				
浄化槽法定検査	点検									27日				年1回
	報告書									12/21				
浄化槽水質検査	点検			1日						1日				年2回
	報告書			6/11						12/14				
浄化槽汚泥採取	実施											27日		年1回
エレベーター点検	点検	3日	13日	29日	31日	12日	4日	2日	25日	4日	20日	12日	17日	年12回
騒音測定	点検									16日				年1回
	報告書									1/6				
自動ドア点検	点検	11日			11日			10日			9日			年4回
	報告書													
電動シャッター点検	点検						26日					13日		年2回
	報告書						10/26					3/13		
消防点検	点検					23日						14日		年2回
	報告書					9/14						3/16		
防火対象物点検	点検							5日						年1回
	報告書							26日						
非常灯点検	点検									22日				年1回
	報告書									1/12				
害虫防除	点検					17日							2日	年2回
	報告書					9/28							4/26	
ガラス清掃	実施			28日				11日						年3回
月例点検報告書	点検	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	年12回
	報告書	5/13	6/8	7/9	8/11	9/14	10/7	11/24	12/24	1/12	2/16	3/12	4/18	

自動販売機月別手数料一覧表

R2年度

(円)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年比
地階	片田商事 (BF)	2,008	2,651	3,144	3,355	3,298	3,500	4,210	2,894	3,351	3,319	3,904	3,206	38,840	6,335
	明治牛乳 (BF)	3,564	3,294	5,535	4,509	4,509	5,346	6,426	6,399	7,371	5,265	5,589	5,238	63,045	▲ 23,544
1階	明治牛乳 (1F)	1,442	1,652	3,304	1,246	1,484	1,946	1,470	1,120	1,358	742	1,078	1,582	18,424	▲ 6,532
	FVイーストジャパン(1F食品)	1,780	1,149	2,028	1,465	2,011	1,721	1,868	1,260	1,535	1,789	1,673	2,303	20,582	▲ 513
	FVイーストジャパン(1F缶)	4,178	10,857	16,530	9,141	13,714	11,241	12,891	16,484	10,169	6,093	10,121	15,385	136,804	▲ 18,496
6階	明治牛乳 (6F)	2,044	4,368	6,580	3,416	3,696	5,292	5,292	3,108	3,584	2,520	1,988	2,212	44,100	▲ 33,012
	ヤクルト東海(6F)	4,514	5,495	7,166	8,311	7,221	9,232	8,804	6,031	6,205	5,791	3,859	7,274	79,903	▲ 13,327
	FVイーストジャパン(6F缶)	4,975	8,828	22,048	10,893	16,958	17,819	19,061	22,221	13,665	14,070	11,331	11,250	173,119	▲ 47,867
	FVイーストジャパン(6Fカップ)	9,368	8,928	10,447	4,940	11,061	5,423	15,702	12,747	8,888	4,497	6,789	11,455	110,245	5,028
合計		33,873	47,222	76,782	47,276	63,952	61,520	75,724	72,264	56,126	44,086	46,332	59,905	685,062	▲ 131,928

R1年度

(円)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年比
地階	片田商事 (BF)	1,681	3,602	2,998	2,056	2,834	3,615	3,029	3,331	2,903	1,059	2,750	2,647	32,505	▲ 9,613
	明治牛乳 (BF)	6,156	6,723	6,831	8,343	8,046	7,911	9,801	6,939	6,021	5,535	7,209	7,074	86,589	▲ 2,052
1階	明治牛乳 (1F)	2,058	2,772	2,374	2,464	2,184	2,380	2,240	1,400	1,456	1,344	2,058	2,226	24,956	▲ 5,508
	FVイーストジャパン(1F食品)	1,712	1,470	1,557	1,918	1,417	1,694	2,346	1,947	1,982	1,534	1,957	1,561	21,095	2,074
	FVイーストジャパン(1F缶)	7,677	16,155	11,987	14,385	12,762	16,927	13,151	14,648	13,683	11,911	11,789	10,225	155,300	9,640
6階	明治牛乳 (6F)	6,440	6,608	7,028	6,356	6,440	5,824	9,072	7,000	8,064	4,312	5,684	4,284	77,112	▲ 10,276
	ヤクルト東海(6F)	4,694	6,058	9,014	11,642	8,292	7,790	8,933	10,419	8,146	5,945	6,384	5,913	93,230	30,650
	FVイーストジャパン(6F缶)	14,825	24,847	17,327	24,602	18,440	26,937	23,044	14,773	19,593	14,305	12,014	10,279	220,986	▲ 12,503
	FVイーストジャパン(6Fカップ)	12,195	8,808	8,463	9,756	6,468	7,305	7,590	9,200	12,549	6,319	7,841	8,723	105,217	▲ 22,454
合計		57,438	77,043	67,579	81,522	66,883	80,383	79,206	69,657	74,397	52,264	57,686	52,932	816,990	▲ 20,042

第3期中期経営計画(令和2年度～令和4年度)取組課題

I 施設貸与事業

取組課題	施策事項	実施時期			実施状況	判定
		R2年度	R3年度	R4年度		
1. 勤労者福祉会館としての役割発揮	会議室の貸出は、勤労者・労働団体等が行う福祉・厚生・文化活動推進のために資する研修・教育・会合等であるか適正に管理する。	○	○	○	新規利用団体は組織及び会議室利用目的、また既利用団体はその利用目的が会館の貸出規程を充たしているか検証して管理を行った。	○
	HP・リーフレットを通じて協会情報を発信したり、デジタルサイネージで福祉事業団体等の情報提供を行う。	○	○	○	デジタルサイネージを通じて、時期に応じたタイムリーな情報提供を行った。	○
	労働団体、労働者福祉団体等との連携による利用促進を図る。	○	○	○	継続して労福協理事会・事業推進会議の場で利用要請を行った。	○
	会議室稼働率の低い「会議室」や「時期」の対策を講じ、利用促進を図る。	○	○	○	稼働率の低い特別会議室について次年度(4/1～1/22)は、とこわか国体事務所として貸出する等改善を図った。事務所使用後は机・椅子の入替を行い、会議室として利用いただきやすい環境を提供していきたい。	○
	津市指定の津波避難ビルとして役割を発揮できるように準備を整える。	○			マニュアル等の整備には至らなかった。	×
2. 利用者・入居者の満足度向上	管理運営委員会等で入居団体と意見交換を行い、要望等を把握する。	○	○	○	管理運営委員会を年2回定期開催、意見交換を行い入居者の要望を把握し改善を行った(喫煙室の排気口方向改善等)。	○
	利用者・入居者の意見等を有効なツールを用いて把握し、満足度向上に結び付ける。	○	○	○	利用者・入居者との意見交換は行っているが、ツールの活用は実施できなかった。	×
	改正健康増進法に適した受動喫煙対策を講じる。	○			地階喫煙室は換気扇を2台設置し、建築基準法で換気扇設置が困難な6階喫煙室は、入口のビニールカーテン取付・室内空調停止の対応を行い、各々環境測定で基準値である喫煙室への0.2m/秒の風速を確保した。	◎
	会議室利用申込のネット化を検討する。		○		次年度以降の検討課題とした。	-
3. 各設備・施設の充実	講堂の設備更新(吊看板・遮光カーテン・マイクデジタルワイヤレス・演台・司会台・出入口扉・プロジェクター入力端子等)を検討する。	○			安全性に懸念のあった吊看板の電動化を行った。他の設備は費用対効果も含め、継続利用可と判断して見送った。	○
	研修室の設備更新(マイクデジタルワイヤレス・DVDプレイヤー・演台・司会台等)を検討する。		○		次年度以降の検討課題とした。	-
	特別会議室の机・椅子を更新する。		○		次年度以降の検討課題とした。	-
	各会議室にコート掛けを設置する。		○		次年度以降の検討課題とした。	-
	各階のトイレにエアータオルの設置を検討する。			○	飛沫感染等の観点から設置しないこととした。	
	施設美化の点検を定期的に実施し、問題点を把握して対処する。	○	○	○	会議室は従来の定期清掃と利用後の机・椅子・ドアノブ等のアルコール消毒で美化を保った。美化点検表等のツールの活用を検討していきたい。	△

第3期中期経営計画(令和2年度～令和4年度)取組課題

II 就労・就業事業

取組課題	施策事項	実施時期			実施状況	判定
		R2年度	R3年度	R4年度		
1.幅広い階層への就労支援事業	おしごと広場を中心とした各種就労支援事業を受託し、継続的に就労者の支援を行う。	○	○	○	従来からの事業に加え、おしごと広場の管理業務を受託することで、協会としての強みを発揮しながら支援を行うことができた。	○
	各関係機関と協議し、就労支援事業の拡大を図る。	○	○	○	新たに「おしごと広場みえ運営事業及び就職相談アドバイザー事業(三重県)」「就職氷河期世代再チャレンジ応援窓口運営業務(三重県)」「三重短期大学就職支援業務(津市)」を受託した。	○
	就職困難者の雇用企業に対して、新たな認定あるいは表彰制度の設立を三重労働局・三重県等に働きかける。		○		次年度以降の検討課題とした。	-
	学校との連携が取れる体制を整えて、幅広く事業の展開を行っていく。		○	○	次年度以降の検討課題とした。	-
	報道各社、市町の雇用担当部署に周知する。	○	○	○	毎月ニュースリリースを継続して行い、合同説明会等が新聞記事に取り上げられた。	○
2.求職者のニーズに沿った支援	就職環境に応じて工夫した内容の就労支援を実施し、求職者のニーズに応じていく。	○	○	○	コロナ禍の中で新たにオンライン活用等工夫した支援を行い、また各事業間の連携力を強化しながら就労者のニーズに応える支援を行った。	○
	労福協、連合の事業実施と連携して、受託事業の周知を図り、就労・就業支援事業に資する取組を行う。	○	○	○	労福協の機関会議では、就労支援の報告を毎回行って周知を図った。	○
3.事業間連携強化で強みを発揮	受託事業以外の文化事業や各関係団体実施事業とも連携して、社会進出に向けた交流の場を提供する。	○	○	○	コロナ禍において各種イベントが中止となり、交流の場を設ける機会がなかった。	×

III 文化事業

取組課題	施策事項	実施時期			実施状況	判定
		R2年度	R3年度	R4年度		
1.労働団体、労働福祉団体等との協賛	スポーツ交流会・熊野古道ツアー・婚活事業等各種事業に協賛し参加する。	○	○	○	コロナ禍において各種行事が中止だった。	×
	労働問題等を考えるセミナー開催を検討する		○	○	次年度以降の検討課題とした。	-
2.利用者の満足度向上	地域の各種団体と連携して、ものづくり体験・子育て支援活動等を実施する。	○	○	○	地域行事が中止の中、コロナ感染症対策を講じてプリザーブドフラワー講座を12月・2月に開催し、参加者から好評を得た。	○
3.就労・就業支援事業等の連携	未就労者が文化事業に参加いただく機会を設け、一般就労者との交流や就労意識の醸成を図る場を提供する。	○	○	○	例年機会を提供してきた地域イベントが中止となったため実施できなかった。	×

IV 会館維持・管理・警備事業

取組課題	施策事項	実施時期			実施状況	判定
		R2年度	R3年度	R4年度		
1.貸与施設の老朽化対応	会館の老朽化・経年劣化に伴う更新・修繕を行う。	○	○	○	三重県への特別修繕要求は予算化されなかったが、緊急性を要した冷温水発生機のウルトラビジョンの交換は三重県の手配で実施した。	△
	耐用年数(15年)、耐用運転時間(30,000H)を超過した空調設備のマルチシステムへの早期更新に向けて、県に働きかけていく。	○	○	○	三重県の窓口である雇用対策課と協議を重ね、三重県営繕課と設計図の打合せまで進んだが予算化は見送られた。	△
	築45年になる会館の様々な設備の更新・会館の建替え等を踏まえ、三重県と意見交換できる機会を設ける。			○	次年度以降の検討課題とした。	-
2.会館の安定的な維持管理	消防(防災)研修、消防(防災)訓練を毎年実施し、自衛消防隊組織の実効性を高めながら、問題点があれば洗い出しを行う。	○	○	○	7月「応急手当・AED操作等」、12月「防災テクニク・消火栓使用方法・避難路確認」の内容で訓練を実施したが、コロナ禍で各団体代表者のみの参加となり、その後職場での伝達研修の対応となった。	○
	各種設備の法定点検・定期点検を励行し、不具合の回避や不具合の早期発見に努める。	○	○	○	法定点検・定期点検とも計画通り実施した。	○

第3期中期経営計画(令和2年度～令和4年度)取組課題

V 売店等事業

取組課題	施策事項	実施時期			実施状況	判定
		R2年度	R3年度	R4年度		
1.自販機売上増に向けた工夫	自動販売機の稼働状況を確認し、また入居団体等の意見を聞きながら、商品ラインナップの変更や自動販売機の入替えを検討する。	○	○	○	売切商品の補充を随時行い、売切の不満の極小化に努めた。また、売切補充が遅く売上に影響していた地階自販機も売上回復し入替は様子を見ることとした。	○
2.フードコーナー等の設置	地下旧レストラン厨房の有効活用(フードコーナー設置等)を検討する。		○		次年度以降の検討課題とした。	-

VI 内部管理態勢

取組課題	施策事項	実施時期			実施状況	判定
		R2年度	R3年度	R4年度		
1. 内部統制が機能する事業活動	理事会、評議員会を通じて内部統制機能を発揮する。	○	○	○	書面決議が多かったが、理事会7回、定時評議員会1回、臨時評議員会2回開催し、内部統制の強化に努めた。(年度内予定含)	○
	内部規程等の整備を図り、内部統制機能を高める。	○	○	○	統制強化のため「懲戒委員会規程」を策定、また無料職業紹介事業開始に伴い、定款変更(事業の追加)及びそれに係る個人情報適正管理規程・業務の運営に関する規程を制定した。	○
	個人情報保護態勢を点検し、顧客保護を徹底する。	○	○	○	専務理事が責任者、各事業の統括責任者が部門担当者とした管理体制で、顧客情報の管理を徹底した。	○
2.法令遵守・環境に配慮した事業活動	コンプライアンス意識を役職員へ浸透・徹底する。	○	○	○	各事業毎に全職員を対象にコンプライアンス研修を実施し、意識向上に努めた。	○
	環境に配慮した商品購入・使用を意識する。	○	○	○	必要な商品はエコ表示商品を中心に購入に努めた。	○
3. 適正な会計処理と安定的な収益確保	継続して公益認定財務3基準を達成する。 ・収支相償 ・公益目的事業比率50%以上 ・遊休財産保有制限	○	○	○	3基準とも達成予定である。	○
	各経費の削減を図る。	○	○	○	必要性・必要数量を考慮した上で、相見積もりの徹底に努めた。	○
	事務処理の堅確化・効率化を図るためインターネットバンキングの導入を検討する。		○		先行的に東海労働金庫のインターネットバンキングを導入した。他行については次年度以降の導入を検討していく。	○
	入居団体の時間外冷暖房料金の見直しを検討する。		○		次年度以降の検討課題とした。	-

VII その他

取組課題	施策事項	実施時期			実施状況	判定
		R2年度	R3年度	R4年度		
1.協会設立50周年事業の検討	令和5年5月に協会設立50周年を迎えるにあたり、記念事業等について検討する。		○		次年度以降の検討課題とした。	-
2.ボランティア活動の継続	ジョイセフを通じた「思い出のランドセル」「使用済み切手」の回収を継続実施する。「思い出のランドセル」については、労福協等との協賛も検討する。	○	○	○	ランドセルは29個、使用済み切手は7.5kgの協力があり、取り纏めて寄贈した。ランドセルは、今後数量が増加した場合労福協等の協賛も検討していきたい。	○